

水源郷 わくわく通信

第9号

ダムツアーが
本格的に始まります!

この水源郷わくわく通信は、
水源地域ビジョンの取り組みの
様子を、皆さまにお知らせする
ために発行するものです。

発行：平成29年9月14日

お問い合わせ先:国土交通省 関東地方整備局 鬼怒川ダム統合管理事務所 調査課
宇都宮市平出工業団地14-3 電話:028-661-7764

④水源地域ビジョンとは

国土交通省と水資源機構が所管するダムの水源地域を対象に、全国的な取り組みとしてダム水源地域一帯の自立的、持続的な活性化を図るための行動計画の策定が進められています。

ダムツアーをより楽しむために、ダム愛好家をお招きし、
ダムのガイド方法などについてアドバイスをいただきました。

来年度(平成30年度)は、JRによる大型観光キャンペーンが、栃木県において実施されます。それに向けて、日光市内でも様々な観光プログラムが始まっていますが、そのプログラムのひとつに、川治温泉旅館組合が主催する「3つのダム見学&歴史探訪ツアー」があります。このツアーの参加対象者は川治温泉宿泊者限定となっており、ダムを擁する地域の活性化にも一役買っています。

去る6月18日(日)に、ダムツアーの一層の魅力アップを目指し、ダム愛好家の星野夕陽氏(※)を現地にお招きし、意見交換会を開催しました。当日は実際のダムツアーを視察した後、星野氏から分かり易いガイド方法やダム愛好家ならではのダムの楽しみ方など様々なアドバイスをいただきました。

今回は、五十里ダム、川治ダム、小網ダムを対象としましたが、川俣ダムや湯西川ダムなどでも今後意見交換会などを開催していきたいと思っています。

※星野夕陽氏：日本ダム協会認定ダムマイスター。自身が撮影した写真が、ダムカードにも採用されている。これまでに現地に行ったダムの数は、500~600基。特に、ダムの洪水調節に強く興味を持ち、Twitter等のSNSを活用して洪水調節の実況を行うようになる。



ダムツアーの視察(五十里ダム)



同左(川治ダム)



同左(小網ダム)



星野氏によるアドバイス(五十里ダム)



同左(川治ダム)



同左(小網ダム)

～ダム愛好家 星野夕陽氏からのアドバイス～
星野氏からは、様々なアドバイスをいただきました。一例をご紹介します。

ダムからの放流量は、「小学校の25mプール何杯分」とか、ダムの高さは「何階建てビルに相当する」などという表現を使うと分かりやすいですよ。



川治ダムは覆いかぶさるようなドーム型をしたアーチダムなので、あまり雨が当たらない面があります。建設から34年たっても、その面が白く見えていますね。



川治ダムの一番上にあるゲートは、放流水を正確に落下させるために、真ん中の2つと左右の2つの吐き出し口で、傾斜角度を少しずつ違えているのです。



五十里ダムの下にある減勢池は、全国的に見ても大きなものです。落ちてくる水の勢いをこの池で吸収するクッションの役割があります。



～平成29年7月3日（月）に、NHKの「ひるブラ」で、川治ダムが紹介されました！～

NHK「ひるブラ」（『大迫力！ダム探検ツアー～栃木・日光～』）で、川治ダムが取り上げられました。番組の最初に、日光市内には、国交省、栃木県、東京電力などが建設した多数のダムがあり、近年ダムツアーが人気になってきていることが紹介されました。その後、迫力あるダムの魅力やダムの役割、そしてなかなか見ることの出来ないダムのゲート操作などについても説明がありました。少々悪天候での収録でしたが、最後には川治ダムカレーの試食もあり、五感で楽しめるダムツアーの様子を伝えていただきました。

【リポーター】鈴木あきえさん、【アナウンサー】三橋大樹さん



国土交通省では、現在公共施設を観光資源とらえたインフラツーリズムを全国的に推進しています。

（右記アドレス参照：<https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/infratourism/index.html>）

鬼怒川上流ダム群でも、地域と連携してダムを活用し、地域のさらなる活性化の足がかりにしていきたいと考えています。